

「実効性あるPDCAサイクル」 —政策評価と行政事業レビューの連携—

平成25年5月20日
新藤議員提出資料

Mission ミッション

- 効果的、効率的な行政
- 国民への説明責任

Vision ビジョン

- 政策の見直し・重点化、予算の縮減・効率化
- 行政への信頼、更なる政策の見直し

Approach アプローチ

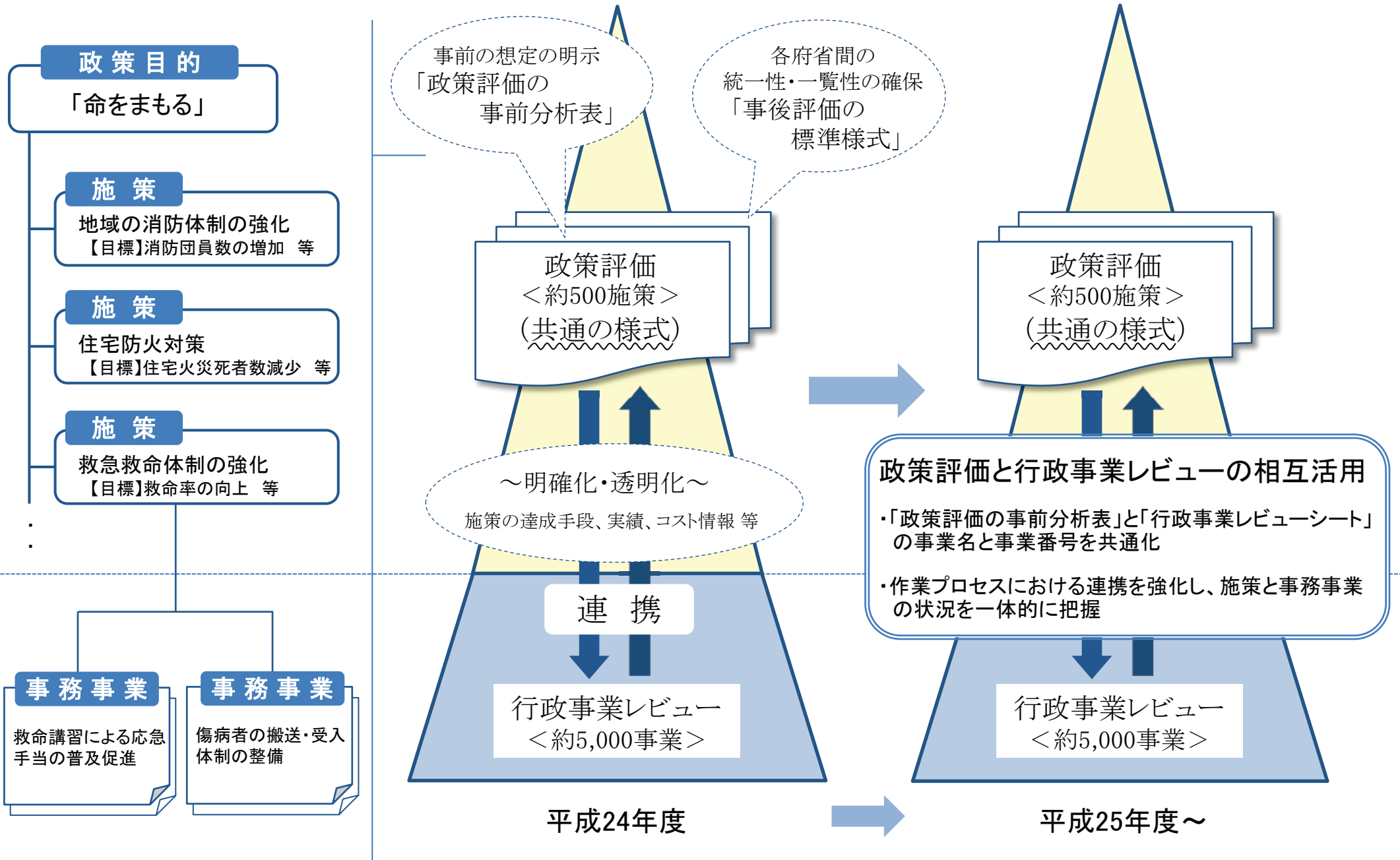
- 全府省の主要な政策全般を約500施策に区分、定期的に事後評価
(毎年度約350件程度)
- 評価施策を、予算・決算書の項・事項と対応 (20年度予算～)
- 行政事業レビューとの連携開始 (24年度～) (2ページ参照)

- ・ 「政策評価の事前分析表」を全政府的に導入し、達成手段となる5,000の事務事業(行政事業レビューに対応)を整理・公表
- ・ 「評価書」に、重要な情報に焦点を絞った標準様式を全政府的に導入

- 個別の公共事業や規制などの事前評価 (23年度実績: 約800件)

- ・ 公共事業の事業決定や規制の新設、改廃等に当たり、期待される効果が費用を上回るかを分析

政策評価と行政事業レビューの連携



政策評価と行政事業レビューの相互活用

【政策評価の事前分析表(約500施策)】

施策名	□□な△△の向上					
施策の概要	〇〇を推進する					
達成すべき目標	. . .					
達成手段 (開始年度)	補正後予算額(執行額)		24年度 当初 予算額	関連 する 指標	達成手段の概要等	行政事業レビュー 事業番号
〇〇事業 (1) (〇〇年度) (関 24-①)	…億円 (…億円)	…億円	…億円	1	…において、〇〇を整備 ・〇〇を整備することは、△△現在 ため、測定指標の〇〇率を… ・〇〇整備率:〇%(〇〇の満足度	〇〇〇1
(2)

事業名と事業番号を共通化

【行政事業レビューシート(約5,000事業)】

		事業番号 〇〇〇1	
平成〇〇年行政事業レビューシート (〇〇省)			
事業名	〇〇事業		
事業開始・ 終了(予定)	△△年度～		
会計区分	□□会計	施策名	□□な△△の向上

24年度における取組

行政事業レビューに対応した「政策評価の事前分析表」を全政府的に導入

25年度～

政策評価と行政事業レビューの相互活用
 ・事業名と事業番号を共通化
 ・施策と事務事業の状況を一体的に把握

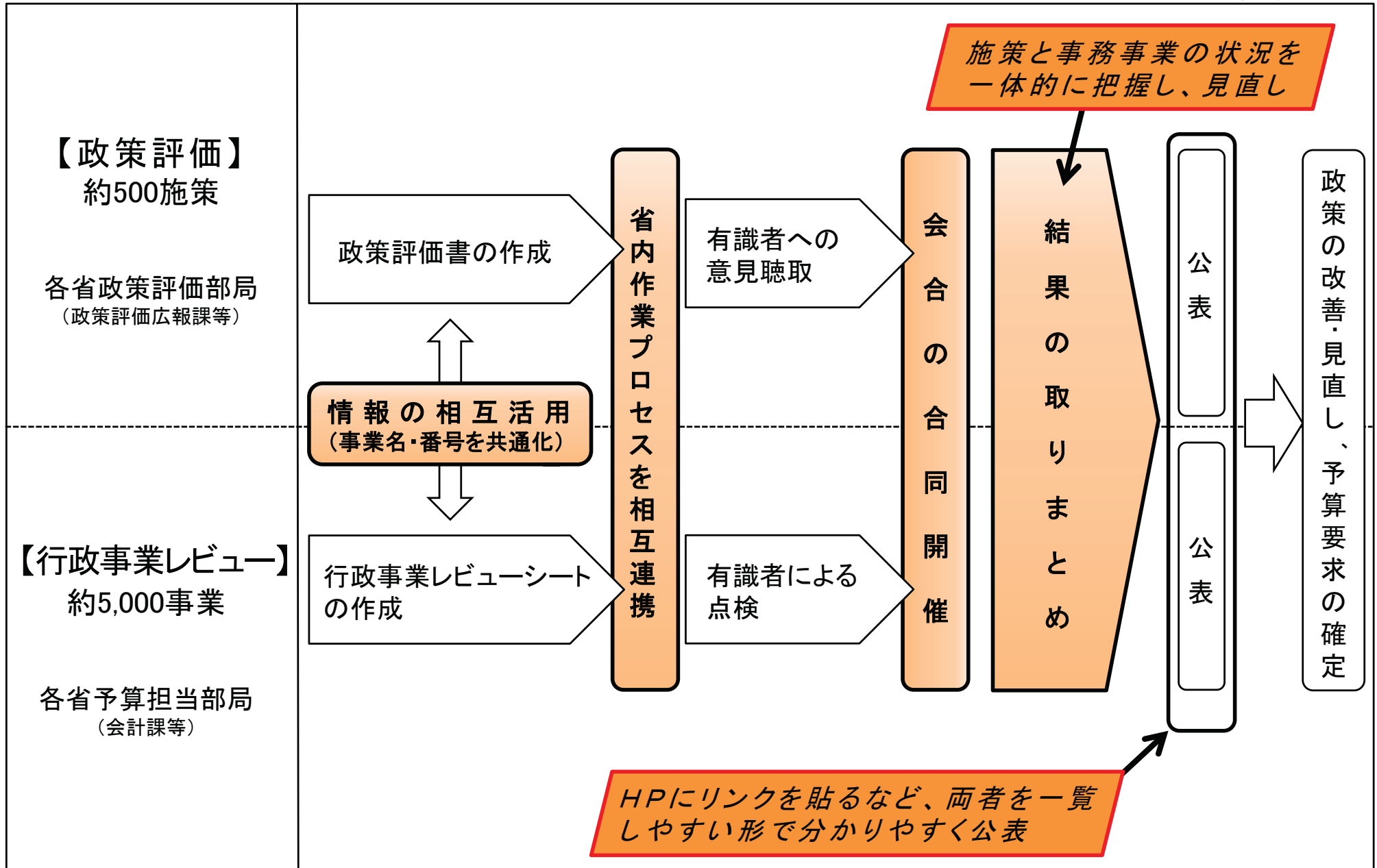
期待される効果

- 政策の見直し・重点化、予算の縮減・効率化
- 双方の作業の共通基盤整備による事務負担軽減

政策評価と行政事業レビューの作業(イメージ)

4月

8月末



課題

取組

① 評価基準の標準化

- ・ 目標の達成状況について、5行政機関は評価区分を設定それぞれ独自の区分であり、統一したものとなっていない
- ・ 11行政機関は区分を設定せず

政策の特性に応じた共通的な評価結果の表示方法を全政府的に導入

② 重点化による質の向上

- ・ 約500施策のうち、毎年約350施策を評価（一部府省で数年に1度のローテーション化）
- ・ 目標の達成状況のチェック等が中心

毎年の評価の対象を重点化（数年に1度のローテーション化を徹底）し、評価内容を深掘り

※ 政策評価・独立行政法人評価委員会における審議、各府省との調整を経て、次期評価から実施（「政策評価の実施に関するガイドライン」等の改正）

③ 府省の枠を超えた政策課題ごとの政策体系の構築、それに基づく評価の実施

④ PDCAサイクルの中で、評価の実施時期を待たず各段階において、評価、検証を実施

政府全体での取組、検討
PDCAサイクルの電子化